弥栄中図書館だより

発行日　平成28年9月
学校図書館司書　横山貴子

全校総合で学んだ今だから…もっと学びを深めよう！

◇「拉致問題」についての本を紹介します

100年インタビュー

「拉致と人生　夢うばわれても」　蓮池薫　著（PHP）

実はこの本の著者の蓮池薫さんは拉致被害者の一人です。ただ、全校総合で学んだ「横田めぐみ」さんと異なる点は24年後、日本に帰ってくることができたこと。

「夢と希望を断ち切られ、生きることは挑戦だった」…帰国後の日本での生活も…。北朝鮮で24年間の拉致生活と帰国後の生活、そして、拉致問題解決についての想いを語った本です。

「13歳からの拉致問題　弟と家族の物語」

蓮池透　著（かもがわ出版）

この本は上記で紹介した著者薫さんの兄が書いた本です。弟の失踪から現在まで著者と家族がどう悩み、行動したのか、また、そもそも拉致問題とは？日本と朝鮮半島との関係などについてわかりやすく解説してあります。

「もし、自分が拉致されて家族の元から引き離されて、外国で暮らすことを強要されたらどうなのだろうと想像してみてください」〔…本文より〕

最後に紹介するのは、杵束公民館の蔵書です。関心のある人は借りに行ってください。

「めぐみと私の35年」　横田早紀江　著（新潮社）

13歳で北朝鮮に拉致された「横田めぐみ」さんの母がこれまでの35年間をつづった本です。ごく普通の主婦として生きてきた著者でしたが、娘が拉致されたことが分かり生活が一変。「ただ娘を助けたいという一心でやってきました」…という言葉や様々な活動が胸に刺さります。

紹介した全ての本に共通して書かれていること、それは**「この拉致問題に関心を持ってほしい、それがこの問題の解決につながる」**です。　ぜひ、読んでみてください。